

【 大田区 】 胃がん検診 平成25年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胃部X線検査）	している

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	190,161	199,640	389,801
【東京都調査による対象者率(区部)：60.5%】			
実際の受診者数	5,544	6,786	12,330

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	35～39歳
左記以外の検査の実施	していない

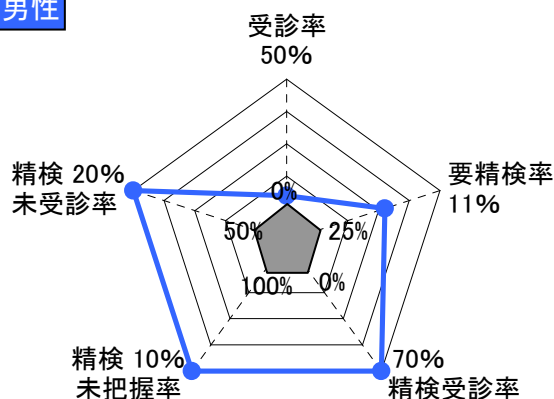
<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

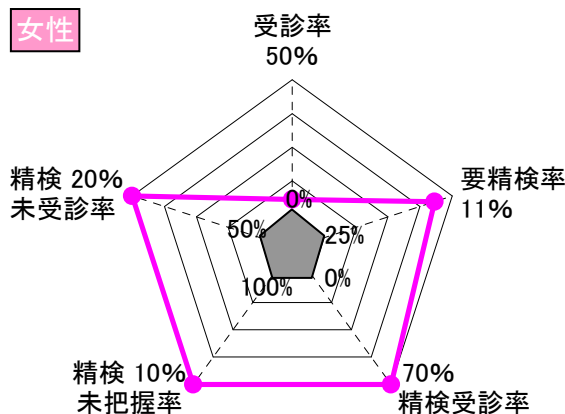
<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	4.8%	5.6%	5.2%
要精検率	11%以下	17.3%	12.9%	14.9%
精検受診率	70%以上	85.5%	91.4%	88.3%
精検未把握率	10%以下	4.7%	3.0%	3.9%
精検未受診率	20%以下	9.8%	5.6%	7.8%
陽性反応適中度	1.0%以上	1.1%	0.5%	0.8%
がん発見率	0.11%以上	0.20%	0.06%	0.12%

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

【 大田区 】 肺がん検診 平成25年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく肺がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胸部X線検査及び喀痰細胞診）	している

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	190,161	199,640	389,801
【東京都調査による対象者率(区部)：66.6%】			
実際の受診者数	8,072	9,882	17,954

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

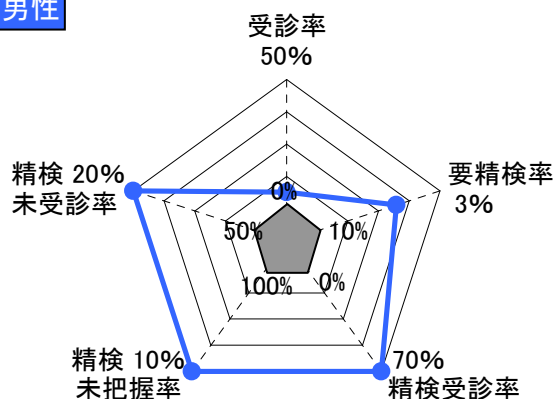
<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

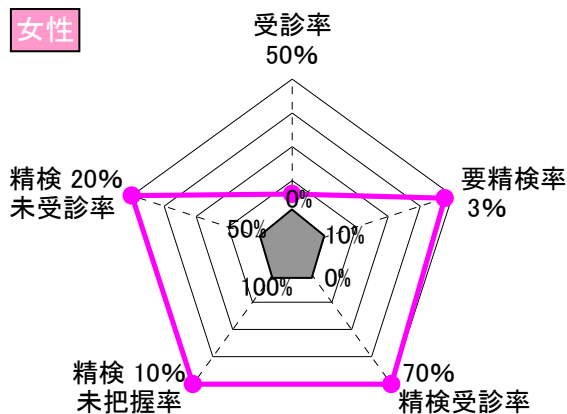
<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	6.4%	7.4%	6.9%
要精検率	3%以下	5.5%	3.4%	4.3%
精検受診率	70%以上	87.1%	89.0%	87.9%
精検未把握率	10%以下	5.9%	5.3%	5.6%
精検未受診率	20%以下	7.0%	5.6%	6.4%
陽性反応適中度	1.3%以上	2.0%	0.9%	1.5%
がん発見率	0.03%以上	0.11%	0.03%	0.07%

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

【 大田区 】 大腸がん検診 平成25年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（便潜血検査(二日法)）	している

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	190,161	199,640	389,801
【東京都調査による対象者率(区部)：66.3%】			
実際の受診者数	10,397	16,067	26,464

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

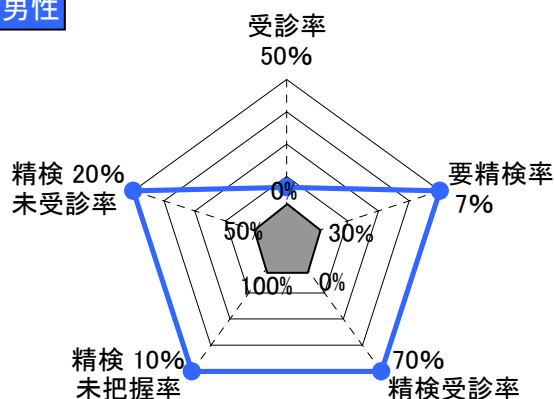
<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

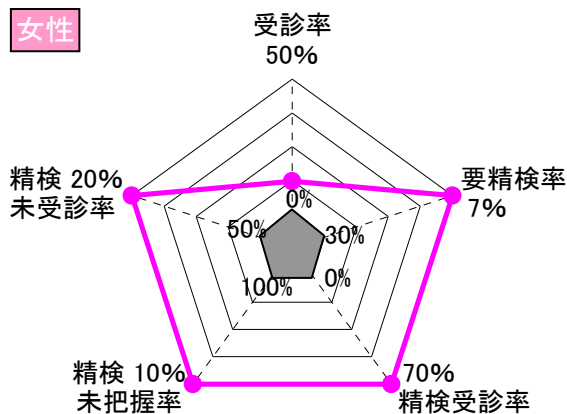
<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	8.2%	12.1%	10.2%
要精検率	7%以下	7.0%	4.8%	5.6%
精検受診率	70%以上	76.6%	76.2%	76.4%
精検未把握率	10%以下	9.8%	9.6%	9.7%
精検未受診率	20%以下	13.6%	14.3%	13.9%
陽性反応適中度	1.9%以上	6.7%	6.7%	6.7%
がん発見率	0.13%以上	0.47%	0.32%	0.38%

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

【 大田区 】 子宮頸がん検診 平成25年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

対象年齢（20歳以上：隔年）	している
検査方法（細胞診）	している

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		297,752	
【東京都調査による対象者率（区部）：63.7%】			
実際の受診者数		18,585	

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		18.7%	
要精検率	1.4%以下		3.1%	
精検受診率	70%以上		67.9%	
精検未把握率	10%以下		22.7%	
精検未受診率	20%以下		9.4%	
陽性反応適中度	4.0%以上		1.4%	
がん発見率	0.05%以上		0.04%	

【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

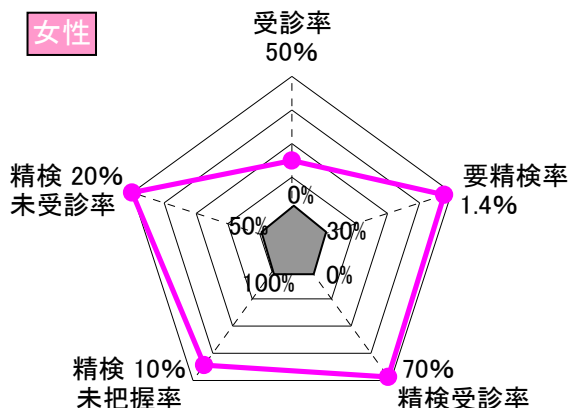
要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。



【 大田区 】 乳がん検診 プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上：隔年）	毎年受診可能
検査方法（視触診及びマンモグラフィ）	している

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		199,640	
【東京都調査による対象者率(区部)：72.3%】			
実際の受診者数		12,230	

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	間隔について毎年受診可能
左記以外の検査の実施	していない

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		14.3%	
要精検率	11%以下		13.4%	
精検受診率	80%以上		92.8%	
精検未把握率	10%以下		5.5%	
精検未受診率	10%以下		1.8%	
陽性反応適中度	2.5%以上		2.4%	
がん発見率	0.23%以上		0.33%	

【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

